

## おくすり Q&A

### クービビック®錠ってどんな薬？

クービビック®錠は昨年薬価収載された**不眠症**の新薬です。国内で3剤目となるオレキシン受容体拮抗薬となります。実際はどのような薬なのかを簡単に紹介していきたいと思います。

#### Q. まず不眠症とは？

A. 通常よりも睡眠時間が短くなり、身体や精神に不調が現れる睡眠障害の一種です。環境や心理的ストレス、精神疾患、薬物、アルコールなどが原因として挙げられます。不眠症は大まかに4つに分類され、寝つきが悪い**入眠障害**、眠りが浅く途中で何度も目が覚めてしまう**中途覚醒**、早朝に目が覚める**早朝覚醒**、ある程度眠っているがしっかりと眠れたという満足感が得られない**熟眠障害**に分類されます。

#### Q. オレキシン受容体とは？

A. オレキシンという物質は脳内に存在しており、オレキシン受容体に結合することにより**脳の覚醒**に関与していることが知られています。覚醒システムが過剰に働いている状態では、不眠などの症状を引き起こしやすくなります。

#### Q. クービビック®錠の効果は？

A. 昨年新薬として薬価収載されたクービビック®錠の有効成分である**ダリドレキサント**はオレキシン受容体タイプ1とタイプ2の両方を選択的に阻害する薬です。オレキシン受容体の働きを阻害することで、過剰に働いている覚醒システムを抑制し、**脳を覚醒状態から睡眠状態へ移行させる**ことにより、不眠症を改善する効果が期待されています。

#### Q. ほかのオレキシン受容体拮抗薬との違い

A. **半減期が6時間程度**と短い点が従来のオレキシン受容体拮抗薬との違いです。半減期とは薬の全体量が半分になることを意味しています。クービビック®錠は半減期が短いため、日中の持ち越し効果（薬が効きすぎてしまい、日中に眠気が残ってしまうこと）を認めない用量で入眠を促すことが期待されています。従来のオレキシン受容体拮抗薬で日中に持ち越しがあり、日常生活に支障をきたしている場合は本剤に切り替えることで副作用の軽減ができる可能性があります。



#### 最後に

今回は昨年薬価収載されたクービビック®錠について紹介しました。ほかの薬と飲み合わせが悪いものもあるため、何か気になる点がございましたら、お近くの医療機関、薬剤師等にご相談ください。

執筆薬剤師 原島 悠輔

# わたしの 健康とくすり

第351号



## 今月の内容

- 疾患シリーズ 潰瘍性大腸炎
- ちょっとお耳を…… 桜が含まれる漢方薬をご存じですか？
- おくすり Q & A クービビック®錠ってどんな薬？

2025年4月発行

発行者 八王子薬剤センター 橘 隆二  
東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

## 潰瘍性大腸炎

この病名をご存じの方は少ないかもしれません。昔は専門家以外は知らない病気でした。下痢や血便が続く、ひどくなると腸が破れて命にかかります。若いうちから発症することが多く、症状が落ち着いたり悪化したりを繰り返しながらとても長い闘病生活になります。最近では高齢者にも患者が増え治療薬も進歩して全国で20万人以上の患者さんがいます。原因は分かりませんが、遺伝的な素因、免疫異常、ストレスなどの環境因子が指摘されています。



## 下痢への対処と治療

下痢は日常生活でよく起きる症状です。急に寒くなったり、冷たいものを食べすぎたり、食あたりを起こしたり。通常ならば安静に暖かくして下痢止めを飲めばすぐに治りますが、頑固な下痢が続くことがあります。そんなときには消化器内科で診療を受けることをお勧めします。

潰瘍性大腸炎は珍しい病気ですが、かかりやすい体質の方は早めにフォローを始めるのが良いのは確かです。昔は治療薬が乏しく、下痢止めや安静を保つことが最優先されました。1950年にサラズスルファピリジンという薬が開発され潰瘍性大腸炎への効果が認められました。その後副作用防止などの改良が加えられて現在も標準治療薬として使われています。最近ではステロイドや免疫抑制剤が効果的なことが分かり、新薬が次々に開発されて盛んに使われています。

免疫というのは生体防御の機構で異物や細菌から体を守る働きネットワークです。例えば気道に細菌が感染して気管支炎を起こすと、すぐさま白血球やリンパ球が働いて細菌を除去します。ところが免疫異常が起きて反応が過敏に働くとアレルギーやアナフィラキシーショックのような過剰免疫になってしまうのです。

治療に使う免疫抑制剤は潰瘍性大腸炎の症状を軽減する効果もありますが、免疫機構を障害する働きもあります。つまりこの治療の最中は細菌感染などには十分注意しないと重症感染症などの危険な状態になるということです。免疫治療を受けている患者さんは「熱っぽい」とか「風邪かな？」という時にはすぐに主治医に連絡して指示を受けるべきなのです。

## 闘病生活とかかりつけ薬剤師

潰瘍性大腸炎に限らず、長い闘病生活を余儀なくされる病気ではかかりつけ薬剤師をもつことをお勧めします。体の不調を気軽に相談できる薬剤師をもつことは治療効率と安全性の向上に大いに役立ち安心して治療を受けられます。

かかりつけ薬剤師は医師との連携も含めた患者さんのフォローアップをします。特に白血病、パーキンソン病、糖尿病、癌、リウマチ、免疫疾患など薬の使い方が複雑な疾患ではかかりつけ薬剤師に服用薬を包括的に管理してもらいましょう。



執筆薬剤師 奥山 清

ちょっとお耳を……

桜が含まれる漢方薬をご存じですか？



皆さん、漢方薬を飲んだことはありますか？ 飲んだことない！ という方でも“漢方薬”という言葉は耳にしたことがあると思います。

## 漢方薬とは…

植物や動物、菌類などの自然由来成分である生薬がいくつか組み合わせられてできているお薬のことをいいます。そのため、比較的、副作用や相互作用が少ないとされ、多くの方に飲まれています。

さて、4月も終わりに差し掛かってきました。今年も多くの場所で桜を目にすることができましたね。そんな桜も実は生薬として漢方薬に使われることがあります！ 今回はそんな桜の効果と漢方薬についてご紹介します！

## ◆桜の樹皮でできている生薬…桜皮(オウヒ)

桜の樹皮は生薬として利用され、桜皮と呼ばれます。この桜皮は日本で独自に使用されている生薬であり、解毒・解熱・鎮咳の作用を持つため、古くから民間薬として使用されてきました。また江戸時代には、民間療法として『一切の食毒、二日酔い、フグの毒にあたったとき、熱病、マムシに噛まれたときに使用する』という記録が残っています。さらに、桜皮には膿を排除してくれる排膿作用があります。～この“排膿作用”が漢方薬に組み込まれた際、大活躍するのです！～

## ◆桜皮が含まれる漢方薬…十味敗毒湯(じゅうみはいどくとう)

十味敗毒湯は、サイコ・キキョウ・センキュウ・ブクリョウ・ポウフウ・ドクカツ・カンゾウ・ケイガイ・ショウキョウそして桜皮の10種の生薬で構成され、皮膚湿疹や蕁麻疹、膿がでるような皮膚疾患などの一般的な“肌トラブル”に用いられます。10種類の生薬で毒素を取り除くことから、十味敗毒湯と名づけられました。十味敗毒湯には皮膚疾患への効果が期待できる反面、発疹、発赤、かゆみ、悪心、下痢などの副作用もあります。服用時、これらの副作用を含め、何か気になる症状があった際には医師へ相談することをお勧めします。

\*また、十味敗毒湯には桜皮の代わりにクヌギの樹皮である樺櫂(ボクソク)が使用されていることもあります。

この先、十味敗毒湯を見かけた際には、ぜひ、成分表から桜を見つけ出してみてください！ そして、今や多くの方々に使用される漢方薬。自然由来だから安心といわれる漢方薬にも、注意すべき点はさまざまです。身近なものから関連付け、漢方薬の知識を増やしてみたいか？ でしょうか？？？



執筆：実務実習生 田中 友麻 (監修薬剤師：宇津木 香保)